

ばらとヨーグルトと世界遺産を有する東欧の国



神様がくれた国・ブルガリア



HIROSHIMA-BULGARIA ASSOCIATION

カザンラック市

第1回・「原爆展」の開催を確約

会場は、カザンラック・アートギャラリー



ダミヤノフ市長と原爆展の開催で意見交換

8月は、カザンラック市の市長と、原爆展の開催について意見交換を行いました。カザンラック市の市長は、原爆展の開催に賛同し、8月9日にカザンラック市で開催される「原爆展」の開催を確約しました。



原爆展の開催に賛同し、8月9日にカザンラック市で開催される「原爆展」の開催を確約しました。

原爆展の開催に賛同し、8月9日にカザンラック市で開催される「原爆展」の開催を確約しました。

原爆展の開催に賛同し、8月9日にカザンラック市で開催される「原爆展」の開催を確約しました。



国立感染症病院内へ
臼田医師官の案内で

ラダミヤノ市長

期間は8月1日からの1か月間



大統領府でマールン副大統領の代理・トシコヴァ官房長と

原爆展の開催に賛同し、8月9日にカザンラック市で開催される「原爆展」の開催を確約しました。

原爆展の開催に賛同し、8月9日にカザンラック市で開催される「原爆展」の開催を確約しました。



ヴェリコ・タルノヴォ大学のイヴァン学長と日本語教師派遣で意見交換

日本語教師の派遣で意見交換

－国立ヴェリコ・タルノヴォ大学－

この日は、日本語教師の派遣について意見交換を行いました。

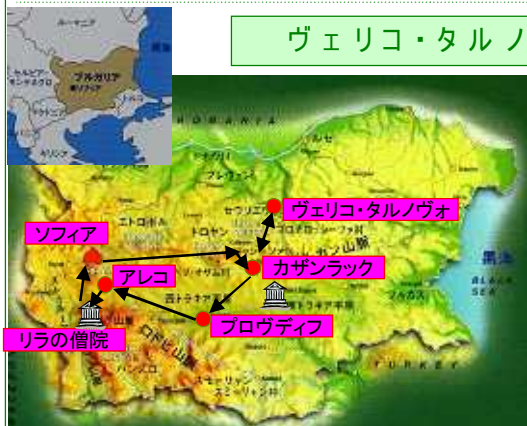
イヴァン学長ら首脳と会

この日は、日本語教師の派遣について意見交換を行いました。

この日は、日本語教師の派遣について意見交換を行いました。

みんなで推進しよう！！ 平和・文化・教育・福祉・経済交流を EU新加盟のブルガリアとの友情を深めて

ヴェリコ・タルノヴォ市



▲旧第ブルガリア帝国時代に宮殿があったツアレヴェッツノ丘 市内の家並みと別荘 ▼



ヴェリコ・タルノボ大学



▲大学の日本語学科の授業風景



▲日本語学科の学生と交流後に記念撮影



▲大学の校内



▲間口2mの土産店が並ぶ旧商店街



▲ホームステイ先の学生と夕食懇談会



▲イヴァン学長に協会から贈った宮島彫りを説明



▲町と町の途中は牧草地と山すそに点在する家々



▲ホームステイ先の学生宅で



ブルガリアで第2の都市・プロヴディフ



▲人口約37万人のプロヴディフの町 ← 印が宿泊ホテル



▲マリツア川に架かる商店街橋



▲紀元前4世紀に建てられたヒ要塞門

第1次・ブルガリア訪問団の軌跡

販促の企画からパッケージの制作まで



お気軽にご連絡ください。全車無線対応です。

(有) 巴紙工

広島市安佐南区 082-874-3175

中国タクシー株式会社

TEL 0120-887040

2006年8月1日～

成功させよう！カザンラック市での第1回「原爆展」

さらに平和交流、国際貢献などを活発化



前田資料館長から原爆展のポスターなどを預かる

各紙が原爆展の開催を報道



原爆展開催を報道した中国新聞(5月27日付)

中国、読売など



▲本物の墳墓を保存している記念館



▲トラキア人の墓内部の天井壁画

世界遺産・トラキア人の墓

市役所で

カザンラック市



▲原爆展の8月開催を確認した後にダミヤノフ市長と記念撮影

エニヨ・ボンチェフのローズオイル蒸留所



▲ローズオイル蒸留所に隣接しているバラ園で花摘み体験

世界遺産・リラの僧院



▲リラの僧院の聖母誕生教会 美しい壁画の前で



コチェリノヴォ村



▲花びらからローズオイルを抽出する蒸留釜



▲民俗踊り

シプカ峠



▲暖炉煙突の上で子育てをするコウノトリ



▲シプカ峠の自由記念碑



▲シプカ僧院

ヴィトシャ山脈のレストラン



▲ブルガリアの文化を伝える民俗踊り

アルバナシ



▲隠れ聖誕教会入口で売られているイコン画

世界遺産・ポヤナ教会



▲3世代に渡って増築された歴史的建造物

ス1の⇒
4ヴ
ピリ
コス、
mイ
フ
ン
スキ
ーに
麓レ
ン山
ーに
リあ
ゾる
ー(最
パ2高
ン9峰

アレコ
のスキ
ー場

エタル野外博物館



⇒スト
ラン
ジャ
地域の
火渡り

のヴ
レイ
スト
シ
ラン
山

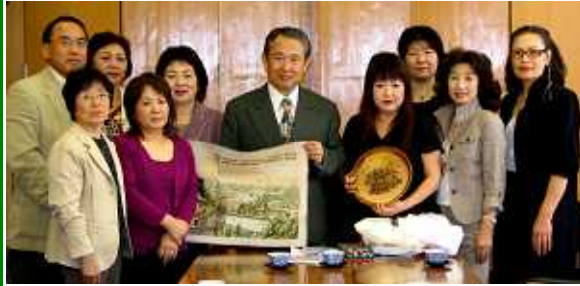
みんなが主役

各自の個性、特徴を發揮して、素晴らしい出会いと素敵な「国際貢献」を

のな展さか集を2
証目的のる力して派9ひろ
,でオ第ザいるすからしま
をす1ンラすこと第2・ブル
を企ブ回ラすことし・ガ
画しニクこのし・リ
し同「ヒ市のし・ガ
原ロで訪現「ブル
爆参シ1問在「協
展加マか団、加ガ
ではナ間は希ア
ことガに、望訪
「とサ渡、8望訪
被キリ月者問
爆大原開1を団
者き爆催日募」

第2次・「ブルガリア訪問団」を募集

在ブルガリア日本国大使館



▲福井全権大使と今後の交流・協力について懇談した後に記念撮

首都・ソフィア市



大統領府

第1次・ブルガリア訪問団の軌跡

門衛が守っている正面玄関⇒

ソフィア大学医学部



←広島で会った医大生・ジェコさんの紹介で国立ソフィア大学医学部を視察できた▲



▲古い医療実験機器のある他の研究室



▲高塩分や強いラキア(蒸留酒)、動物性たんぱく質の食生活のために循環器系の病人が多いのか、同学科の病院・研究棟は最新式の施設だった
広い敷地に緑の多い好環境の大学構内⇒

日程:7月29日~8月9日

カザンラック市で第1回「原爆展」を

いいてますの。目的は被爆者の方の参加者を募って
帝都第2次ブルガリア訪問団の募集
大都會の目的は、旧ブルガリアの歴史を伝えること
大学から、日本語教師派遣事業の最終的
第2次ブルガリア訪問団の募集
第1回「原爆展」をカザンラック市で開催

ソフィア第18総合学校



▲日本語学科の8, 9(中学2, 3)年生、約30人と日本語で交流



↓第18総合学校の正面

国立感染症病院

ソフィアのJICAブルガリア事務所



▲香川所長(右端)と長井さんからブルガリアの情報を得る



▲在ブルガリア日本大使館の臼田医務官の案内で国立感染症病院を訪問(右)。医療機器がない集中治療室(左)

会費やご支援金は、下記、振込みへ
郵便振込 01340-5-83924 ひろしま・ブルガリア協会

編集後記

の進いアての▼訪ナ世ロは載ルを大催口面忘あしか分ア I 徳本市初がの行なに初様団
にブめ。も未諺「問教界ヴ、しノ計学サシにれっ高」を訪東・事ブでいの近日社ど当めでメ
はル相。だが百先会遺ヅまヴ画からカ・大こ時程費け団かA局ガリし倍くが費頼、のたバをま問今無当ルト0
おガた互聞情あ聞な、産イェしオしらカ、大こ時程費け団かA局ガリし倍くが費頼、のたバをま問今無当ルト0
れりめ理く報りがまに都、コ▼学い日ンガ領がホす当ら2出A(ア▼くつまがで問ベン当はしたの、のりあるの年
せ訪と読少す見取・ラカタそなる本ラサ府でホす当ら2出A(ア▼くつまがで問ベン当はしたの、のりあるの年
ん問一交むな。にりソのザルのどヴ語キときッ」初参人す(株)行会東んて、ぶたのト会、本1寺特7国的訪第大にと
。を人流とい日如上フ僧ノ他のエ教市爆1せし、算しのブ務T佐在時困予登ガ島程あとに人満」はま果団次なつ
(、で・でブ本かげイ院ラヴの訪リ師市爆1せし、算しのブ務T佐在時困予登ガ島程あとに人満」はま果団次なつ
爽)も協はルかずまアとツオ紙問コ、展回んた連よま1ル)・々住、果算予りのやりっごの和を、した」・イて
)願多力大ガら」しでボクと面を・派広を・▼の絡りせ0ガかC木の、果算予りのやりっごの和を、した」・イて
わくを違り見とたのヤとブで掲タ遣島開ヒ1をが少ん人りら・文日出で当日で旅費特の労問長み訪▼て、ブン0

「協会」役員
会長:海生 直人・広島修道大学教授
副代表理事:藤田 洋三・(株)日本プレス総務部長

代表理事:佐々木 典明・(株)中国放送顧問
専務理事:今村 功・HIES代表

お薬から訪問介護、デイサービスまでお任せを
訪問介護、福祉用具貸与、デイサービス寺小屋チャオ、ひとみ薬局
(有)ヤマオコーポレーション
広島市南区翠 082-250-9805